

認証評価結果に対する改善報告書

平成 30 年 7 月 30 日

1. 大学名：日本獣医生命科学大学

2. 認証評価実施年度：平成 28 年度

3. 「改善を要する点」の内容

基準項目：3-6. 財政基盤と収支

○法人の借入金を計画的に返済するためには、理事会で議決された「学校法人日本医科大学 中期経営改善計画」に沿って財政運営を行うよう改善が必要である。

4. 改善状況及び結果

平成 26 (2014) 年度と平成 27 (2015) 年度の 2 年連続で帰属収支差額が支出超過となったことを受け、外部のコンサルタント会社の協力を得て、「学校法人日本医科大学 中期経営改善計画」を策定し、定例理事会において承認を受け、法人一丸となり経営改善に取り組んできました。また、平成 29 (2017) 年 1 月に理事長の交代があったことから、現在新たな中長期事業計画の策定を行っていますが、この 2 年間の収支状況及び今後の借入残高の見込みは下記の通りです。

(1) 本法人の収支状況の改善と借入金残高の推移について

平成 28 (2016) 年度と平成 29 (2017) 年度の収支状況と借入金残高は下記の通りです。

①平成 28 (2016) 年度 (【資料 3-6-①】)

医療収入は 748 億円と前年度に比べ 18 億円、2.4%の増加となりました。教育活動収入合計も 901 億円と前年度に比べ 21 億円、2.4%の増加となりました。

一方、教育活動支出合計は 893 億円と前年度に比べ 1 億円、0.1%の増加に留め、基本金組入前収支差額は+5.5 億円と 3 年ぶりに収入超過となりました。年度末借入金残高は 629 億円と前年度に比べ 25 億円減少しました。

②平成 29 (2017) 年度 (【資料 3-6-②】)

医療収入は 783 億円と前年度に比べ 35 億円、4.7%の増加となりました。教育活動収入合計も 944 億円と前年度に比べ 43 億円、4.8%の増加となりました。

教育活動支出合計は 917 億円と前年度に比べ 24 億円の増加となりましたが、増加率を 2.7%に抑制したことから基本金組入前収支差額は+16.5 億円と増収増益となりました。年度末借入金残高は 580 億円と前年度に比べ 49 億円減少しました。

(2) 借入金残高の今後の減少見込みについて (【資料 3-6-③】)

本法人が 10 年以上かけて取り組んできた千駄木地区再開発計画は、昨年 7 月に新付属病院の第 2 期工事が完成し、本年 1 月に新病院のフルオープンを迎えたことで、一段落した状況となりました。新付属病院のスタートも順調に推移しており、今後も医療収入の増加

が見込まれます。上記にありますように、この2年間で借入金は74億円減少させることができましたが、既存の借入金につきましては平成30(2018)年度以降も毎年40～50億円ずつ減少させていくことを目標としています。

また本法人では2019年度より新武蔵小杉病院の建設・移転の計画を進めております。これは現病院の隣接地のグラウンドに新病院を建設し、移転を行った後、現病院を解体し更地にしたうえで現病院の敷地をデベロッパーに売却する予定となっています。新病院の建設及び土地売却時まで一時的に新規借入金が発生しますが、建設費用より売却代金が超過することから土地売却時に100億円前後の借入金減少ができると見込んでいます。

毎年の借入金減少と武蔵小杉病院の建設・土地売却により2024年度末の借入金残高は100億円前後まで減少させることを目標としています。

以上をもちまして改善報告とさせていただきます。宜しくお願いいたします。

5. エビデンス（根拠資料）一覧

基準項目3-6の資料

【資料3-6-①】平成28年度財務計算書類

【資料3-6-②】平成29年度財務計算書類

【資料3-6-③】学校法人日本医科大学／中長期借入残高推移見通し（法人全体）

以上